

# 萩市企業景況調査

DI方式

平成25年10月～12月期 実績  
平成26年 1月～ 3月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは?

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合(%)

《調査機関》萩商工会議所

## 業況改善の兆しが見えるも、先行きは依然不透明

### 景況の概要

平成26年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率93%)

**生産・売上** 前期比DIは年末需要などで建設業を除く業種が増加となった。(全業種平均30.4ポイント)。前年同期比は小売業・観光関連業を除く業種が増加している(全業種平均▲1.8ポイント)。今後(1～3月期)の見通しでは、季節的要因などから建設業を除く業種が減少すると予想(全業種平均▲19.6ポイント)。

**収益(経常利益)** 前期比DIは、全業種で増加となった。(全業種平均21.4ポイント)。前年同期比は建設業、卸売業、サービス業は増加。製造業、小売業、観光関連業は減少。(全業種平均▲5.4ポイント)。今後(1～3月期)の見通しでは、建設業を除く業種が減少すると予想(全業種平均▲23.2ポイント)。

**資金繰り** 前期比は建設業、製造業、サービス業が増加、卸売業、小売業、観光関連業が悪化となった(全業種平均▲7.1ポイント)。今後(1～3月期)は建設業以外が悪化すると予想している(全業種平均▲19.6ポイント)。

**従業員数** 小売業、サービス業、観光関連業は適正、卸売業は過剰感、建設業、製造業は不足感があるとしている。

**経営上の問題点** ①需要の停滞 46.4% ②人材の確保難 12.5% ③同業他社との競争激化 8.9%の順となっているほか、仕入れ価格の上昇、原油価格上昇によるコスト増加、値引き要請等取引条件の悪化などが挙げられている。

**今後の業界動向** 各業界の景気見通しは、公共事業増加の期待感から建設業は好転すると予想しているが、他の業種は季節的要因などにより悪化すると予想(全業種平均▲7.1ポイント)している。

**景況に関する生の声** ■災害復旧で公共工事(土木が主体)が増えているが、本年度の見通しがつかめない。観光、一次産業、新規産業の活性化を望みたい。(電気工事) ■消費税増税前の駆け込みと年度末公共工事による工事量が増加。(総合建設) ■需要の減少が最大の要因ではあるが、主要資材の値上がりもあり利益がでない。(印刷業) ■お歳暮時期なので何とかあったという感じがする。(海産物加工業) ■消費税8%の影響が今後どうなるか。(機械加工業) ■今期は受注が多く多忙だった。(製材業) ■商品不足と消費低下で売上が減少。まだ、田舎(地方)への恩恵は程遠く感じられる。(海産物卸売業) ■流通形態がメーカー直接販売に変わりつつある(ネット受注に移行)。(事務用品卸売業) ■気温が高い日が多く、季節品の動きが鈍く、暖房用品、カイロなど低迷。全体的に客数が昨年より低い。(大型店) ■年末の売れ筋商品が今までより入荷が難しく、大型店等に商品が流れている。また、他の地域からチラシ等による進出があり、同業他社との商圈争いが激化していく恐れがある。(玩具等販売) ■都市部は好調と聞くが、地方は依然低迷しているようだ。(貴金属等販売) ■夏以降の観光客減が引き続き、観光客数が昨年より2割程度減少しているように感じる。個人消費はマスコミの景気回復報道のような増加は感じられない。(萩焼販売業) ■経済産業省補助事業(サポイン事業)がスタートし研究開発に注力しているものの、実値効果が出るのに時間がかかりそう。(工房)

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	0.0	60.0	37.5	50.0	11.1	22.2	30.4	▲44.6	9.3
	前年同期比	10.0	30.0	12.5	▲30.0	22.2	▲55.6	▲1.8	▲22.8	▲13.0
	26年1月～3月期見通し	80.0	▲30.0	▲50.0	▲30.0	▲55.6	▲44.4	▲19.6	▲5.3	▲51.9
収益	前期比	20.0	40.0	25.0	20.0	11.1	11.1	21.4	▲40.4	9.3
	前年同期比	20.0	▲30.0	25.0	▲10.0	11.1	▲44.4	▲5.4	▲28.1	▲22.2
	26年1月～3月期見通し	60.0	▲40.0	▲50.0	▲30.0	▲44.4	▲44.4	▲23.2	▲8.8	▲53.7
資金繰り	前期比	20.0	10.0	▲25.0	▲40.0	11.1	▲22.2	▲7.1	▲10.7	▲7.4
	26年1月～3月期見通し	10.0	▲10.0	▲37.5	▲10.0	▲33.3	▲44.4	▲19.6	▲17.9	▲31.5
従業員数	25年12月末	60.0	10.0	▲12.5	0.0	0.0	0.0	10.7	10.7	▲1.9
設備投資	(実績)	20.0	30.0	25.0	10.0	22.2	44.4	25.0	15.8	11.1
	(計画)	40.0	30.0	25.0	30.0	0.0	44.4	28.6	15.8	16.7
業界動向		80.0	▲10.0	▲37.5	▲20.0	▲33.3	▲33.3	▲7.1	▲54.4	▲72.2